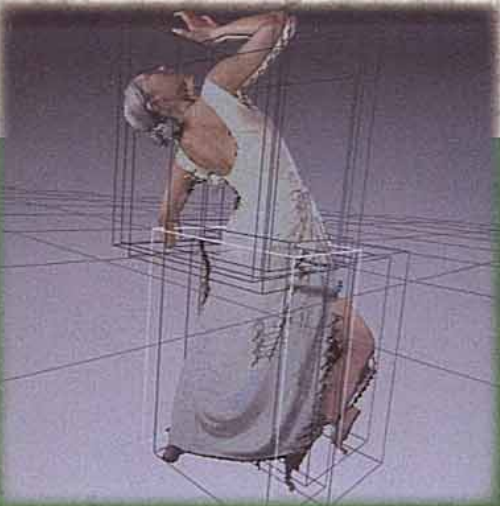


「うづしみ」コバヤシ画廊 2004 モデル: 船田麻央 撮影: 末正真礼生



「Eve's Poise」コバヤシ画廊 2005 モデル: 別所るみ子 撮影: 池上真哉



独舞「雪女」2006 平山素子 撮影: WAKO

## 渡辺晃一個展『Danae × 平山素子』

GINZA  
コバヤシ画廊 7月10日(月)～22日(土)日曜休廊 平山素子ダンスパフォーマンス 7月12日(水)18:20～ 17日(月)13:30～ チケット:一般 3500円 学生2000円

# 渡辺晃 一個展『Danae × 平山素子』<sup>ダナエ</sup>

2006年7月10日(月)～22日(土) 11:30～19:00(最終日 17:00まで) 日曜休廊

● 平山素子 ダンスパフォーマンス ●

チケット／一般 3500円 学生 2000円

チケット予約／お名前と人数、希望日を、下記のE-mailかFaxへ事前にお申し込み下さい

【E-mail】koichiw09@hotmail.com 【Fax】024-548-8226

【お申し込み受付期間】6月19日(月)～7月6日(木)

●7月12日(水) 18:20～ ●17日(月) 13:30～

(各回約40分 / 定員40名)

NECの3次元計測機器3-Dデジタイザ「Danae(ダナエ)」を用いて、人体の作品制作を続けてきた渡辺晃一。今回、国際的ダンサーの平山素子をモデルに制作したインスタレーション作品を発表する。キーワードは「重力」。デジタル画像から制作された「立つ身体」と「肌膚の雨」が、ギリシア神話の「Danae」に新たな物語を加えていく。

※本研究は文部科学省による'03～'05年度の科学研究費の助成による。

協力 NECエンジニアリング株式会社、株式会社宮本樹脂工業、株式会社紀文フードケミカ、下村石膏株式会社

渡辺晃一 WATANABE,Koichi 美術家、造形作家

平山素子 HIRAYAMA,Motoko コンテンポラリーダンサー、振付家

'95年佐武賞受賞。'01年から 文部科学省派遣在外研修員としてアメリカ、イギリスに滞在。主な著書に「4本足のワフトリ」(宮脇理編)、「絵画の教科書」(谷川運監修)。主な個展に「Veronica」(高野記念川口現代美術館)、「疾走する肌膚 大野一雄」(川口現代美術館スタジオ)、「On An Earth」(Zoller gallery / ベンシルバニア)、「Flower & Family」(Christ Church / ロンドン)、「Outward → in the World」(Century Gallery / ロンドン)など。主なグループ展に、北海道立近代美術館、板橋区立美術館、福島県立美術館、フランス、ポーランド、バングラデッシュ国立ギャラリーなどの企画展、「VOCA」,「越後妻有アートトリエンナーレ」など。'04年、オペラの舞台美術を担当。現在は人体や地球の重力、肌膚をキーワードに、絵画や版表現、Life-castingの制作や執筆活動を行い、他領域とのコラボレーション活動も多数開催している。

'99年世界バレエ&モダンダンスコンクールにて、モダンダンス部門金メダルとニジンスキー賞をダブル受賞。音楽舞踊新聞'00年間ベストダンサーに選出され、'01年文化庁派遣在外研修員としてベルギーへ留学。'05年、新国立劇場「舞姫と牧神達の午後」にてデュオ「Butterfly」を発表。11月、兵庫県立芸術文化センター「オープニング・バレエ・ガラ」にて、ニジンスキー振付初演版「春の祭典」の復元上演に生贄の乙女役で主演。'06年、自らが演出・構成を手がけた独舞「雪女」を発表、さらにポリシヨイ劇場/バレエ団の招聘により渡露、ソロ作品「Revelation」を振付。'06年、中川説之助賞受賞。

卓越した身体能力には定評があり、洗練されているが常に開拓心を失わない姿勢が魅力のダンサーとして人気が高い。まさに日本のダンス界をリードする存在として期待されている。



GINZA  
コバヤシ画廊

〒104-0061 東京都中央区銀座3-8-12 ヤマトビルB1F  
Tel&Fax 03-3561-0515 Email kbsyg@gf6.so-net.ne.jp